



東員第一中学校
511-0242
三重県員弁郡東員町
六把野新田557番地
Tel 0594-76-2303
Fax 0594-76-9711
E-mail toin1-jimu@mie-toin.ed.jp

学校長：島田真也
職員数：53人
児童数：436人
学級数：18学級



令和6年度 学校教育目標
4部連携図
自主・自立・自律～自ら未来を語れる生徒を育てる～

研修部:「わからない」から始まる授業の実現 → 今年度のテーマ:「めあて」と「振り返り」

- 合言葉 1:「安心・いきいき」 ①安心して過ごせる教室空間の構築⇒学習集団作りの徹底、②関わり合う力の育成⇒意図のある小集団活動
③学び合う力の育成⇒教師は喋り過ぎない。適切に生徒を見取り、つなげる。「生徒:教師=8:2」の授業を目指す。
- 合言葉 2:「愛情いっぱい」 ①16年一貫教育プランの実践⇒自分を客観的に見る力を育成する。(メタ認知の育成)
②東員町の指導理念に基づく実践⇒自己肯定感、自己有能感を育み、愛情一杯に育てる。
- 合言葉 3:「リーディングスキル」 ①読み解く力の育成⇒深い思考を促す課題の提示、②伝え合う力の育成⇒自己表現や仲間と対話する場面を授業内に作る。

生指部:誰もが安心して過ごせる空間の創造 生活部:自分の思いを語れる生徒の育成 学習部及び人権・道徳部:豊かな人間性と確かな学力を身に付け、自信を持って未来へ進める生徒の育成

- ①年間生活指導重点項目に基づいた生活指導の実施
・交通安全指導(登下校指導)
・SNSに関わる指導
・長期休みに向けた指導
- ②生活指導担当を中心とした指導体制・情報共有体制
・学年生活指導担当のリーダーシップの育成
・指導内容のデータベース化
- ③生活委員会と積極的な連携
・交通安全教室・生活習慣チェック
・自転車点検
・一中ネットルール宣言の継承
- ④QU アンケートの分析・活用
・学年会/校内研修会での分析活動
- ⑤教師力UPの研修の充実

- ①生徒主体の安心できる関係の構築
・生徒会主体の授業改善
・生活部主体のプチ学級経営研修
- ②誰もがリーダーとフォロワーでいきいき
・執行部主体の生徒会行事の企画・運営
・室長会主体の学年行事の企画・運営
・班長会の活用
・朝の会・帰りの会の活用
- ③みんなが自分の思いを語ることができる生徒会行事
・執行部主体の生徒会行事
・室長会主体の学年行事

- 学習部⇒学力分析
①テスト分析・学力分析 ②定期テストデジタル採点の運用
・各種テスト分析 ・D層生徒の把握
・学習支援方法の提示 ・テスト計画表作成
- ③3観点成績処理の全職員共有化 ④ICT活用授業&環境整備

- 学習部⇒キャリア教育
①基礎学力・学習習慣の定着
・朝の帯学習(朝読・小テスト)の実施・家庭学習(テキスト学習/6行日記)の実施
- ②未来に希望の抱けるキャリア教育
・1年生⇒「進路ガイダンス」、「職業調べ」、「職業インタビュー」、「就活体験学習」など
・2年生⇒「進路ガイダンス」、「技能体験学習」、「〇〇年後の自分を考える」など
・3年生⇒「進路ガイダンス」、「保育実習」、「面接練習」など

- 人権道徳部
①人権教育の推進
・系統性のある人権学習の企画 ・東員町こどもの権利条例学習会の企画
・人権フォーラムの企画・運営 ・仲間作りHRの企画
- ②「考え・議論する」道徳の探究
・道徳指導案統括 ・全員道徳の計画・実施 ・外部講師を招いての道徳研修

令和7年度 研修主題 東員町立東員第一中学校

「わからない」から始まる授業の実現

～3つの合言葉・手立てをもとに進める授業実践～

合言葉 1:安心・いきいき

① 安心して過ごせる教室空間の構築

□以下の掲示物を生徒達に示し、**学習集団作り**を行うことで、
授業が誰にとっても安心して受けられるものにする。

東員第一中学校 授業規律 9 項目			東員第一中学校 学びの作法		
①チャイムがなる3分前に授業の準備をして着席する。	②授業の始めと終わりのあいさつを姿勢を正して、きちんと行う。	③正しい姿勢で座る。(足を組んだりせず、背筋を伸ばして座る)	〇わからないときは「自分から」友達に聞こう。(待たない)		
④はっきりと返事をし、みんなに聞こえる声で話す。	⑤話す人を見ながら最後まで話を聞く。	⑥無駄話や手遊びなど、授業に関係のないことをしない。	〇きかれたら相手が納得するまで説明しよう。		
⑦授業に必要なものは机の上に置かない。	⑧授業中に勝手に自分の席から離れない。	⑨自分の言動は周りをハッピーにしているか常に考える。	相手の考えに寄り添って、相手が納得できるように説明する。 (「～さんは、どこでつまづいているのかな?」と考える。 「ここまで分かった?」と聞いてみる。 絵や図をかきながら(示しながら)説明する。)		
			〇自分の考えと比べながら、優しい気持ちで相手の考えを聴こう。 (自分の考えとどこがちがうのかな?どこでそう思ったのかな? ～さんが言いたいことは、つまり～ということなんだな。)		

② 関わり合う力の育成

□他者との関わりでしか得られない学びを実現するために、
教科の本質に即して、**意図のある小集団を活用した協働的な学び**を行う。(ICT 機器の有効活用)

③ 学び合う力の育成

□学び合いの中で3つの姿を教師・生徒は目指していく。

- ①「わからない」と言える授業、安心できる空間を作る教師
- ②生徒の「わからない」をつなぎ、適切に見取ることができる教師
- ③「わからない」と自ら質問する生徒
- ④見通しを持って粘り強く取り組み、自分の学習を良い方向に調整できる生徒

□授業の中では不必要な内容を削ぎ落とし、教師は喋り過ぎない。**「生徒:教師=8:2」**を理想とする。

合言葉 2:愛情いっぱい

① 16年一貫教育プランの実践

自分を**客観的に見る力**を育成する。

① 東員町の指導理念の実践

子どもたちの**基本的信頼感**を裏切ったり、**自己有能感**を否定したりするようなことは、絶対にしない。
愛情をいっぱいかけながら発達をサポートする。

合言葉 3:リーディングスキル

① 読み解く力の育成

□授業の初めに必ず**「めあて(今日の目指す姿)」**、授業の終わりに必ず**「振り返り」**を行う。
また、教科書の音読や文章記述内容を要約・アウトプットする機会を設ける。

第6次3つの授業「読み解く力・伝える力の育成」の具体化に向けて ～基礎的・汎用的な読解力を日々の授業・授業で高める～			「読解力」(「3つの読解力」)の育成の目標と、その達成に向けた取組		
基礎的 リーディングスキル(基礎的読解力)の育成は、単元・単元目標を定める中で、その中で3つの読解力(基礎的読解力)を育成する。これにより、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。また、読解力(基礎的読解力)の育成が実現されることで、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。			基礎的 リーディングスキル(基礎的読解力)の育成は、単元・単元目標を定める中で、その中で3つの読解力(基礎的読解力)を育成する。これにより、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。また、読解力(基礎的読解力)の育成が実現されることで、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。		
基礎的 リーディングスキル(基礎的読解力)の育成は、単元・単元目標を定める中で、その中で3つの読解力(基礎的読解力)を育成する。これにより、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。また、読解力(基礎的読解力)の育成が実現されることで、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。			基礎的 リーディングスキル(基礎的読解力)の育成は、単元・単元目標を定める中で、その中で3つの読解力(基礎的読解力)を育成する。これにより、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。また、読解力(基礎的読解力)の育成が実現されることで、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。		
基礎的 リーディングスキル(基礎的読解力)の育成は、単元・単元目標を定める中で、その中で3つの読解力(基礎的読解力)を育成する。これにより、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。また、読解力(基礎的読解力)の育成が実現されることで、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。			基礎的 リーディングスキル(基礎的読解力)の育成は、単元・単元目標を定める中で、その中で3つの読解力(基礎的読解力)を育成する。これにより、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。また、読解力(基礎的読解力)の育成が実現されることで、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。		
基礎的 リーディングスキル(基礎的読解力)の育成は、単元・単元目標を定める中で、その中で3つの読解力(基礎的読解力)を育成する。これにより、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。また、読解力(基礎的読解力)の育成が実現されることで、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。			基礎的 リーディングスキル(基礎的読解力)の育成は、単元・単元目標を定める中で、その中で3つの読解力(基礎的読解力)を育成する。これにより、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。また、読解力(基礎的読解力)の育成が実現されることで、読解力(基礎的読解力)の育成が実現される。		

② 伝え合う力の育成

□自分の考えを、**自己表現(話す、書く)**する場合や**仲間と対話**する場面を授業内に作る。

3つの手立てで授業研究を進めます

①外部講師による授業研及び模擬授業

□岐阜聖徳学園大学、玉置教授に**年間3回**、来ていただき授業研究を行う。

※各学年で**1名研究授業者**を決めて

もらいます。
テーマ:「**協働的な学びの実現**」
⇒「**アウトプット**」を大切に**した授業**
⇒「**自分を語れる・表現できる生徒の育成**」



②前・後期 授業作り研修

□研究授業前には**模擬授業**を実施し、研究授業のねらいなどについて**共通認識**を図る。**(授業者のニーズに合った模擬授業を行う。)**
□全職員が**目標やテーマ**を持って、**1年間に2回、2週間程度**の期間で公開授業を行う。また、公開期間中は以下の手立

- ①**参観シート**を使って、**目的を持って授業を参観**する。
- ②**授業作り研修の始めと終わりに必ず取り組みの方向性の確認や振り返り**を交流する時間を設ける。

③学級(学年)経営研修

□**1年間に3回**、学期の始めに学級(学年)の状況を振り返り、学級(学年)経営の成果と課題を明らかにする。また、その中では、**具体的な実践方法を交流する時間**を作る。(年間3回以外にも各部と連携をして、学級経営における実践力を身に付ける研修を定期的実施していく。

4月：入学式
生徒会オリエンテーション
学調・IRT・ステディチェック
授業参観
評議員会
スポーツテスト

5月：体育祭
キャリア学習〔2年〕
弁当の日〔1年〕
中間テスト
QU調査①

6月：小中連絡会
実力テスト①
生徒会授業づくり

7月：期末テスト
部活壮行会
桑員体育大会

8月：夏休み研修会
補充学習会

9月：実力テスト②
QU調査②
修学旅行〔3年〕

10月：桑員新人体育大会
実力テスト③
授業参観/中間テスト
3年文化行事
評議員会

11月：実力テスト④
人権フォーラム
校内人権学習期間
期末テスト
保育実習〔3年〕

12月：三者懇談会

1月：実力テスト⑤
QU調査③
入学説明会

2月：実力テスト⑥
3年三者懇談会
合唱祭三送会
期末テスト

公立前期選抜試験
3月：評議員・評価委員会
卒業式
公立後期選抜試験